



慶應義塾大学ビジネス・スクール

ABB

アセア・ブラウンボベリ・リミテッド

第1部

業界の概況と合併

5

まえがき

この3部構成のケースの目的は、ABBアセア・ブラウンボベリ社の組織設計について基本的な事項を理解することである。第1部では、スウェーデン企業であるアセア社の歴史と、スイス企業であるブラウンボベリ社の歴史に焦点を合わせている。また、世界の電機業界を概観し、1987年の合併によりABBアセア・ブラウンボベリ社が誕生した経緯について詳しく説明する。

10

第2部では、ABBの組織設計とマネージメント・ストラクチャーが持つ活力を詳細に紹介する。その中では、ABBのグローバル・マトリックス構造について説明し、そのマトリックスの主な強みと、強力なリーダーシップ、効果的な経営情報システムについても分析している。これら二つのケースにより、グローバル・マトリックス組織の強みと弱みに関する一つの見方が例示され、さらに多様な意見が引き出されるものと思う。

15

このシリーズの第3部では、ABBの社長兼CEOであるパーシー・バーネビックの人物像に焦点を合わせる。これらの背景情報は、組織の青写真を描く際における人的資源に関する戦略的な決定や、強力なリーダーシップの影響力について議論を深めるうえで役立つであろう。際だったカリスマ性を備える現代著名なCEOの一人パーシー・バーネビックについて、彼自身の言葉と、彼について述べられた言葉を引用する独特の様式により、新鮮でユニークな見方が得られるよう工夫したつもりである。

20

25

このシリーズの作成に当たって、チューリッヒにあるABB本社スタッフのベニー・イグランドには多くの協力と示唆をいただき、ビジネススクールの同僚であるフレデリック・エドストロームとクリストファー・ベイアにもさまざまな示唆を受けた。また、エイリー・

30

このケースは、デューク大学のエイリー・ルーウィン教授の指導のもとにダニエル・ツィンマーマンがクラス討議の資料として作成したもので、経営状況の適否を例示することを目的とするものではない。原文の英文ケースおよびこの邦訳ケースの著作権(©1993)は、デューク大学のエイリー・ルーウィン教授に属する。翻訳は、著者の厚意ある許可を得て慶應義塾大学ビジネス・スクールが行った。

(翻訳監修 矢作 恒雄) 1994/7